

緑色のアイアンジャイアント 蟻の城 (ありのしろ)  1962年・向井良吉 蟻の城は、50年以上前からときわ公園に設置されている作品だよ。宇都の工場から出た鉄クズからつくられていて、まるで巨大なロボットのような迫力があるね。 TOKIWA MUSEUM scu.1 100	世界を繋ぐハートストーン Our Love (アワラブ)  2013年・富義教也 Our Love (アワラブ)の3つのハートは、それぞれイタリア、イラン、旧ユーゴスラビアで採れた石でできているよ。約500人が石みがきに参加して完成させたんだ。 TOKIWA MUSEUM scu.2 100	湖畔のストーンヘンジ つなぎ石  1989年・山根 耕 つなぎ石は、大きな5つの石が積み重なった作品だよ。大昔から、ここにあるみたいに空々としているね。大きな石には不思議なパワーがあるとされているので、この作品に触ると元気になるかも？ TOKIWA MUSEUM scu.3 85	錯覚のエキスパンドメタル 歩行視のためのオブジェ  2009年・杉山雅之 作品のまわりをゆっくり歩いてみよう。歩きながら見るための作品だよ。少し離れて歩くのがポイント。7層の網の目が重なり合うことで、作品の模様が動いているように見えるよ。 TOKIWA MUSEUM scu.4 75	原始のシンメトリーパワー 親和No.5  1974年・高橋 清 シンメトリーとは右と左が同じ形という意味だよ。同じ形の石が2つならふと（本当はちょっとだけちがうけど）、1つだけのときよりもパワーアップして見えるね。 TOKIWA MUSEUM scu.5 55
浮遊するスモールピラミッド 小さなピラミッド  1975年・土谷 武 君はこの作品の中にある小さなピラミッドを見つけることができるかな？ぐるっと回って探してみよう。ふっくらした鉄の板を上手に使って、小さなピラミッドを表しているよ。 TOKIWA MUSEUM scu.6 45	憧れめきのシルバーガール ロッキングドール  1979年・関 正司 銀色のボディがまぶしい、ときわ公園のアイドルともいえる作品だよ。すごい髪型をしているけど、どうしたのかな？ロッキングドールの名前のとおり、風が吹くと動く作品だよ。 TOKIWA MUSEUM scu.7 100	融合するプランツスカルプチャー 水あいて時ながれ  2008年・眞板雅文 空に伸びていくような彫刻だね。よく見ると、先の方が葉っぱみたいになっているよ。あれ？本物の植物（むべ）も書かれているよ。植物が成長すると、彫刻の見え方も変わるかな？ TOKIWA MUSEUM scu.8 60	発掘されたシークレットレリーフ 作品1964L1  1964年・堀川宗英 横みたいに、平べったい彫刻だね。色んな模様が隠れているよ。下の方を見ると木の丸太みたいな形が見えるね。古い遺跡の一部なのか？何かの部品のなのか？作品の裏側もみてみよう。 TOKIWA MUSEUM scu.9 50	巨大なグラビティニオン 自重  1969年・村岡三郎 芝生にころがる大きな玉ねぎのような作品だよ。とっても重そうだけど、中には何が入っているのかな？上の部分には不思議なくさりが付いていて、見えない誰かが持ち上げようとしているのかも？ TOKIWA MUSEUM scu.10 70
空とつながるリングドーナツ ドッキングNo.26  1975年・田中米吉 地面に置かれた宇宙船？銀色ドーナツ？ジュラルミン製の円盤の中には機があって、空を映し出しているよ。覗き込めるとまるで地面の中に空ができたみたいだね。空に落ちたら大変だ。 TOKIWA MUSEUM scu.11 65	宇都のプレミアムスカルプチャー ゆあみする女  ファルコネ この作品は、宇都市にとって大切な作品なんだよ。外国の彫刻のレプリカだけどずっと昔に、この小さな彫刻がまちなかに設置されたことから宇都市の彫刻の物語が始まったんだ。 TOKIWA MUSEUM scu.12 120	純白のスロータイムマシン 空をみんなで眺める  2015年・志賀政夫 まっしろなイスが、石のステージの上に並んでいるよ。みんなですわって、まわりを眺めてみよう。イスにもたれて空を眺めてみよう。さあ、どんな景色が見えるかな。 TOKIWA MUSEUM scu.13 120	幻想のレインボーゲージ うしろの正面  2015年・田中清隆 作品をぐるっとまわりながら見てみよう。虹色が濃くなったり薄くなったりするよ。作品の中に誰がいるみたいだね。作品のうしろにある景色と一緒に楽しもう。夜になるとLEDライトが光るんだ。 TOKIWA MUSEUM scu.14 70	幻想のレインボーゲージ うしろの正面  2015年・田中清隆 作品をぐるっとまわりながら見てみよう。虹色が濃くなったり薄くなったりするよ。作品の中に誰がいるみたいだね。作品のうしろにある景色と一緒に楽しもう。夜になるとLEDライトが光るんだ。 TOKIWA MUSEUM scu.14 70
蘇えるオールドタイヤ 総整備へのオマージュ・タイヤフランメ  2015年・三本俊治 大きな黒い箱に、タイヤが何本も入っています。これはタイヤのゴミ捨て場なのかな。このタイヤがもっともって増えたら、箱の中はどうなってしまうのでしょうか。 TOKIWA MUSEUM scu.15 60	沈黙のベストフレンド ともだち  2015年・田中 毅 名前のとおり、作家の田中毅さんの友達をイメージした作品です。石が灰色や黒に見えるけど、全部同じ石でできています。石の形がかわって表情が変わるんだね。 TOKIWA MUSEUM scu.16 60	モノクロのビッグスネイル いしづえ  2015年・遠野芳彦 大きなカタツムリの彫刻です。どこに行こうとしているのかな？殻には、不思議な模様が描かれているね。実際に見てみよう。 TOKIWA MUSEUM scu.17 80	泡沬のヘブンスゲート 水土の門-II/天地を巡るもの  2015年・戸田裕介 大きな石のすきまから、銀色の泡が空に向かってのびていきます。石のすきまを歩いて、泡を見上げてみよう。泡のなかには何があるかな。 TOKIWA MUSEUM scu.18 95	衝撃のクラッシュベンチ STANDARD (スタンダード)  2015年・久村 卓 ベンチに大きな石がのびています。石はどこから来たのかな、誰がおいたのかな。もししたら、ここに座っていた誰かが石になっちゃったのかもしれないね。 TOKIWA MUSEUM scu.19 60

漆黒のウェビーチェア

不安定な夜



2015年・浅野左恵

大きな黒いイスだね。誰のイスだろう、巨人のイスかな。イスの上の板は何か。なんだがバランスが悪くて、今にも落ちそうだね。



TOKIWA MUSEUM scu.20

60

進化するレッドクリフ

跡



2015年・武田亮生

カブトムシ、ぞうさん、イカの化石に、アンモナイト。いろんな生き物が彫刻になって隠れているよ。どこかに人の顔があるみたいだけど、どこにあるかな。



TOKIWA MUSEUM scu.21

70

穿たれたホワイトマープル

UNTITLED (アンタイトル)



2015年・西澤利高

大きな白い石の彫刻です。石は大理石といって、とてもスベスベした石なので触ってみよう。石の真ん中にある穴の裏側はどうなっているかな。



TOKIWA MUSEUM scu.22

80

共鳴するウォータードロップ

過響/Echoes (エコーズ)



2015年・クオ クオ シャン

銀色の宇宙船みたいな作品だね。作家さんは水の動きをイメージしたんだって。銀色の先っぽにある透明な部分は、夜になると光ります。



TOKIWA MUSEUM scu.23

70

転生するホワイトディアー

Transmigration (トランスミグレーション)



2015年・プロジェクトムーン

大きな鹿の彫刻です。草を食べているのかな。作品は何でできているのだろう。木でできているのかもしれない。実際に触って確かめてみよう。



TOKIWA MUSEUM scu.24

100

振り起こされたウィザードツリー

宇部の木



2015年・竹藤耕平

アクリル板の下に、大きな木の根が見えるかな。この木の根は、作家の竹藤さんが2カ月かけて掘り出した木の根です。数十年分の木の根は迫力満点です。



TOKIWA MUSEUM scu.25

150

そびえ立つスタンディングクロス
dazed by liquor
(テイスト・バイ・リキュール)

2015年・[gh/e]

灰色の板がときわ公園の芝生に立っています。板の間を風がとおり過ぎて気持ち良さそうです。板の間に入って、ときわ公園の風を感じてみよう。



TOKIWA MUSEUM scu.26

60

不可思議なアイアンフルーツ
orange (オレンジ)

2015年・津村 拓

大きなバナナの彫刻です。でも少し普通のバナナと違います。色は真っ赤なりんご色。そしてこの作品の名前はオレンジです。バナナの中身はどうなっているのでしょうか。



TOKIWA MUSEUM scu.27

60

刻み込まれた記憶装置

STORAGE (ストレージ)



2015年・暗橋幸一

クラゲの頭みたいな、おかつ頭みたいな不思議な形の彫刻です。表面に、細いミゾがたくさんあるのが分るかな。これは作家さんが一本一本刻んだミゾなのです。



TOKIWA MUSEUM scu.28

60

折り畳まれたリージョナルシティ
宇部市のための凹みスタディ

2015年・谷口順一郎

黄色い板が何枚も重なっています。実は板は全部つながっていて、少しずつ広げていくと大きな1枚の板になります。さて、どんな形になるか考えてみよう。



TOKIWA MUSEUM scu.29

60

崩れ落ちそうなチョコレートケーキ
Fantasie a la creme de Pistache
au the vert et son chocolat acrylique
(ファンタジー・パイ・ド・パイ・ド・パイ)

2015年・ヴィンセント・オリネット

大きなケーキの彫刻です。欲張りすぎてあんまり大きなケーキをつくったものだから、上の方は今にもくずれ落ちそうです。なにこどもホドホドが落着きます。



TOKIWA MUSEUM scu.30

80

宇宙を宿すグランドファーザー
じいちゃんの鼻の穴に宇宙があった。

2013年・佐藤圭一

吉部(きべ)小学校の近くにある。大きなじいちゃんの鼻の彫刻。鼻の穴に宇宙があるのかな。どんな夢をみているのでしょうか。鼻の穴をのぞくと、じいちゃんの夢の中をのぞけるかもしれない。



TOKIWA MUSEUM scu.31

80

孤高のフォトグラファターの夢
軽やかな飛行

2014年・下瀬信雄

飛ぶことを夢見る野外彫刻「風になるとき」を、UBEビエンナーレ公式カメラマンの下瀬信雄さんが本当に空を飛んでいるみたいに撮った写真だよ。実際の作品と見比べてみよう。



TOKIWA MUSEUM scu.32

100

湖畔にそびえるスペースシップ
PONK094

1991年・本郷重孝

風によって泳ぐ飛行船の彫刻で、風の向きで方向が変わるよ。名前は「ポンプ→ポンコ→ポンコ」というふうに変化したんだ。つぶやいてみると音のひびきがおもしろいね。



TOKIWA MUSEUM scu.33

80

人を惹きつけるアントリオン
標的と人

1969年・広井 力

ときわミュージアムのそばの松林の中にある、こどもたちが走り回って遊ぶことのできる「遊具としての彫刻」だよ。作者はベトナム戦争の時に平和を意図して作ったそうだよ。



TOKIWA MUSEUM scu.34

80

湖畔にたたずむラスティフォレスト
杜(もり)

1991年・永廣隆次

4本の支柱があるアーチ状の作品だよ。上にのったねじれている部分は、2本の円筒形のスティールパイプを切って、からませたものだ。不思議な形のアーチをくぐってみよう。



TOKIWA MUSEUM scu.35

80

伝説のゴールデンデーモン
温羅(うら)

2011年・西平孝史

室町時代の民謡・桃太郎の鬼のルーツとも言われる温羅(うら)をモチーフに生まれた作品だよ。ときわ遊園地のメリーゴーランドの前で用心棒のように仁王立ちしているよ。



TOKIWA MUSEUM scu.36

80

ドームの中のスパイダースレッド
蜘蛛のいと

1997年・飯内佐斗司

芥川龍之介の小説をモチーフにした作品だよ。外から見るとドームにクモが巣をつくっているね。ドームの中をのぞくとクモが垂らした糸の下にたくさんのこどもたちが見えるよ。



TOKIWA MUSEUM scu.37

120

木工のミッドナイトエクスプレス
深夜バス

2011年・中出武彦

ときわミュージアム彫刻野外展示場に設置されている、木でできた白いバスの彫刻だよ。後部座席にお客さんがぼつと乗っているね。運転席のハンドルはくるくると動かすことができるんだ。



TOKIWA MUSEUM scu.38

120

湖畔にはばたくメタルウイング
風になるとき

1997年・西野康彦

結びた鉄の3本脚に支えられた翼が、風にたがって、ゆっくりととはたたくように振れる作品だよ。翼は両翼で9メートルを超える大きさだけど、重さは20キログラム程度の軽さなんだ。



TOKIWA MUSEUM scu.39

100

ねじれたガンメタルゲート

コスミック・アーチ



1988年・鹿田洋史

ときわ公園噴水池に設置されている。高さ3.4メートルの門の彫刻だよ。2つの四角い柱が上の方でねじ曲がって1つにつながっていて、とても美しいかたちをしているよ。

TOKIWA MUSEUM scu.40

100

ブロンズのコールマイナー

坑夫



1907年・萩原守衛

ロダンの影響を受けた作者が、フランスのバリエに留学していた時に制作した彫刻だよ。当時では考えられないほど荒々しい表現だったけど、生命感にあふれているね。

TOKIWA MUSEUM scu.41

120

風に揺れ動くホワイトセイル

時のシルエット



2003年・新宮 晋

第20回現代日本彫刻展大賞作品だよ。9つの白い帆が風を受けると、組み込まれたベアリングで複雑に回転するよ。空の青さやまわりの緑、水面に映し出される姿が見事に調和した作品だね。

TOKIWA MUSEUM scu.42

150

カラフル模様のホワイトウォール

ピクニック



1981年・斎藤達雄

真っ白な四角い形の強化プラスチックに不思議な6個の模様をくりぬかれた彫刻だよ。模様の内側は、赤・黄・青・緑でカラフルに塗装されていて、とても美しい気分させてくれる作品なんだ。

TOKIWA MUSEUM scu.43

80

空高く燃えあがる新緑の炎

Green Fire



2012年・高橋勇一郎

緑のような緑色のステンレスを使って、炎のかたちを表現しているね。上の方には緑色の葉っぱが付いていて、植物のようにも見えるよ。炎と植物という正反対のものが一体となった作品なんだ。

TOKIWA MUSEUM scu.48

80

川辺にそびえるビッグヘッド

大首川



2005年・吉野辰海

真狩川公園の一角で遠くを見つめるようにそびえ立つ、高さ4メートルの真っ黒で巨大な犬の首の彫刻だよ。まちなかの風景に突然現れたように展示されていてとてもインパクトのある作品だね。

TOKIWA MUSEUM scu.47

80

円錐形のプリズムキャッチャー

双極子



1977年・多田美波

円形のステンレスを底辺に、両側から曲げられた2枚のガラスを合わせて円すいのかたちにつくられた作品なんだ。宇都市文化会館の内庭に設置されていて、まわりの風景と調和しているよ。

TOKIWA MUSEUM scu.46

120

そびえ立つ紅色サンシャイン

△・光・△



1997年・外嶋秀昭

ステンレススティールの棒状のパーツをねじれた形に組み上げてつくられた作品だよ。カラフルに塗装されていてとってもきれいだね。フジグラン宇都店の敷地内に設置してあるよ。

TOKIWA MUSEUM scu.45

80

緑に映えるレッドスクリュー

Locus of Time III



2001年・田辺 武

山口宇都空港のふれあい公園に設置してある。83個のステンレスの棒をねじれたかたちになるようにつなげてつくられた作品だよ。真っ赤に塗装されていて、芝生の緑とあざやかに調和しているね。

TOKIWA MUSEUM scu.44

80

色鮮やかなブリリアントホイール

彩構



1997年・笹 勇俊

山陽自動車道宇都インターチェンジに設置してある彫刻だよ。白い円形の鉄の骨組みにカラフルな三角形が組み合わさっているよ。人工衛星のようなかたちにも見えるね。

TOKIWA MUSEUM scu.49

80

 鏡色にきらめくイスの城
 The Forest of Mirrors


2009年・佐野耕平

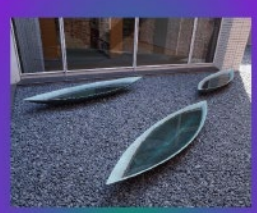
ステンレスの床の上に、同じくステンレスのイスがたくさん積み上げられていて、その中にとび跳ねた魚と石が置かれている作品だよ。鏡のようなステンレスにまわりの景色を映し出すよ。

TOKIWA MUSEUM scu.50

80

青空を映し出すブルーカヌー

碧い舟ー内なる海と空ー



1987年・小清水漸

宇都市立図書館の閲覧室から見える中庭に設置してある。順でできた舟のかたちをした作品だよ。6艘の舟の中には水がはってあって、水面に空を映し出しているよ。

TOKIWA MUSEUM scu.51

100

次世代の生命を内在する希望の種

SEED 増殖



1999年・伊藤憲太郎

不思議なかたちをしたステンレススティールの彫刻だよ。「SEED」というのは「種」のことで、生命が誕生し、生長を始める時の、希望にあふれた力強い姿が表現されているよ。

TOKIWA MUSEUM scu.52

120

緑面に広がるメタリックワールド

内なる空73-2



1973年・山本衛士

この作品は第5回現代日本彫刻展の大賞作品だよ。鏡のように加工された鉄板を積み重ねた2つの山があって、それぞれの山頂にはドーム型とかまぼこ型の建物を取り付けられているんだ。

TOKIWA MUSEUM scu.53

150

レジェンドオブブリッジ

底流



1991年・土屋公雄

ペリカン島の近くにある彫刻だよ。今は、森の中にあるけど、もともとは橋で、川の中にあっただんだ。だから下のほうに貝殻がついているんだ。

TOKIWA MUSEUM scu.53

100

よみがえるレジェンドオブブリッジ

底流



1991年・土屋公雄

この作品は第14回現代日本彫刻展の大賞作品だよ。取り壊されようとしていた高橋川の橋脚を再利用して、彫刻としてよみがえらせたんだ。貝がらなどそのまゝくっつけて残っているよ。

TOKIWA MUSEUM scu.58

150

緑にたたずむシンシノステア

孤独の輪郭



1977年・木村光佑

この作品は第7回現代日本彫刻展の大賞作品だよ。敷きつめられた25枚のステンレスの板の真ん中に、ステンレスの封掛けイスがばつと置かれていて、影のびているよ。誰が座るイスなのかな。

TOKIWA MUSEUM scu.54

150

湖畔にたたずむタワーをニュートン

碑



1981年・増田正和

この作品は第9回現代日本彫刻展の大賞作品だよ。立方体の石を上下二段に積み重ねられているよ。前後の面はつるに磨きあげられているのに、左右の面は磨り残してギザギザのままにしているんだ。

TOKIWA MUSEUM scu.55

150

浮遊するジャイアントボックス

無題No. 95 1985



1985年・国中米吉

この作品は第11回現代日本彫刻展の大賞作品だよ。さびついた大きな長方形の鉄の箱が、鏡のようなステンレスの支柱にのっかっているよ。巨大な物体が宙に浮かんでいるようだね。

TOKIWA MUSEUM scu.56

150

陽光に映えるストーンボート

SUN SADDLE' 87



1987年・山口敏生

この作品は第12回現代日本彫刻展の大賞作品だよ。上の部分はわずかにくぼんでいて、縁が無数にきざみこまれているよ。その縁は太陽の光が当たると時計の役割も果たすことができるんだ。

TOKIWA MUSEUM scu.57

150

天を切り抜くスペースシップ

月に向かって進め



1995年・井田勝己

この作品は第16回現代日本彫刻展の大賞作品だよ。自然石の上に舟のかたちをした石の彫刻がのっかっているよ。前の方が斜め上を向いていて、今も空に向かって旅立つようなだね。



TOKIWA MUSEUM scu.59 150

絶妙なバランスのレッドリブ

重力空間一赤



1997年・内田晴之

この作品は第17回現代日本彫刻展の大賞作品だよ。真っ赤なステンレスの楕円の中には、それぞれ磁石が設置されていて、その反発力を使って、空中で水平を保つようにバランスをとっているんだ。



TOKIWA MUSEUM scu.60 150

不思議なカタチのコンビネーション

PERMUTATION



2007年・ビョートル・フョードロフスキー

この作品は第22回現代日本彫刻展の大賞作品だよ。ねじまげられていたり、ピンジのようなかたちをしていたり、さまざまなかたちをした鉄がいくつも組み合わさってできているんだ。



TOKIWA MUSEUM scu.61 150

自己概念のゴールデンキューブ

Self-consciousness



2009年・ヨム・サンウク

この作品は第23回UBEビエンナーレの大賞作品だよ。韓国の作家によってつられたこの彫刻は、黄金色の塗装がほどこされたブロンズのキューブの輪がとも印象的だね。



TOKIWA MUSEUM scu.62 150

純白のツイステッドマーブル

UNITY OF OPPOSITES



2011年・ジョージ・ダン・イストラテ

この作品は第24回UBEビエンナーレの大賞作品だよ。大きくて真っ白な大理石が、ねじれたようなかたちをしているよ。表面がつるつるしている部分とざらざらのままの部分があるんだ。



TOKIWA MUSEUM scu.63 150

伝説のレイクドラゴン

湖水の竜神



1999年・國安孝昌

この作品は第18回現代日本彫刻展の大賞作品だよ。木の丸太やレンガを組み合わせ、竜に見立てて作られたんだ。ときわ公園に設置されていたけど、今は見ることのできない幻の作品だよ。



TOKIWA MUSEUM scu.64 180

風が降りなすカレイドスコープ

風の灯台



2017年・ナカイケタケヒコ

第27回UBEビエンナーレで山口県立美術館賞を受賞した作品だよ。灯台の中に入って見上げると、大きな万華鏡になっていて、風を受けてクルクルと回る風車が見えるよ。



TOKIWA MUSEUM scu.65 70

カラフル模様のアニマルタワー

Construction Kit Animal (コンストラクション・キット・アニマル)



2017年・ハンス・シヨール

第27回UBEビエンナーレで毎日新聞社賞を受賞した作品だよ。積み重ねられたカラフルな動物のピラミッドは、よく見ると、いろいろな動物がまぎれこぜになっているんだ。



TOKIWA MUSEUM scu.66 100

時を重ねたストーンビルディング

時空ピラミッド



2017年・北川太郎

第27回UBEビエンナーレで宇都商工会議所賞を受賞した作品だよ。長い時間をかけて、小さい石をひたすら積み重ねて作られた、不思議な形をしたラミッドだよ。



TOKIWA MUSEUM scu.67 80

届かないシェイプドランゲージ

言葉



2017年・武田克史

第27回UBEビエンナーレの実物制作指定作品だよ。いくつもの赤い立方体の箱が無秩序に組み合わさっているこの作品は「言葉」を題材にして作られたんだ。



TOKIWA MUSEUM scu.68 60

湖畔にたたずむビッグエルク

エルクの工事現場



2017年・村中保彦

第27回UBEビエンナーレの実物制作指定作品だよ。大きなヘラジカ(エルク)の周りに足場が組まれた工事現場の作品なんだ。作りかけなのかな? 修理しているのかな? 想像してみよう。



TOKIWA MUSEUM scu.69 60

永遠を奏でるウォーターサウンド

リメンバー宇都



2017年・キム・キョンミン

第27回UBEビエンナーレで大賞(宇都賞)を受賞した作品だよ。固いステンレススティールでできているのに、水溜や波紋、水の流れるまどで本物のように見えるね。



TOKIWA MUSEUM scu.70 150

宇宙とつながる交信装置

北極星との交信V



2017年・藤島明範

第27回UBEビエンナーレで宇都マテリアルズ賞を受賞した作品だよ。正確に設置されたこの彫刻の真ん中にある穴を夜にのぞくと、北極星の光を見ることができるんだ。



TOKIWA MUSEUM scu.71 95

鋼鉄のアンフィビアン

水陸(共生)



2017年・首藤 晃

第27回UBEビエンナーレの実物制作指定作品だよ。水にすむ生き物のようなものや農具のようなものが含まれていて、お互いに反対方向に向かおうとしている不思議な作品なんだ。



TOKIWA MUSEUM scu.72 60

大地を感じるステスコープ

この星の声



2017年・土井聖二

第27回UBEビエンナーレの実物制作指定作品だよ。片方は地面にくっついていて、もう片方はラッパのようなかたちをしているこの作品は、土を焼いて作られているんだ。



TOKIWA MUSEUM scu.73 60

思いを巡らすホワイトカーブ

空想の軌跡II



2017年・熊谷文秀

第27回UBEビエンナーレの実物制作指定作品だよ。真っ白な線がくっきりと曲がって不思議な形をしているよ。いろいろな方向から見てみよう。さわりたて、この作品を感じよう。



TOKIWA MUSEUM scu.74 60

巨大なカッパアップル

りんご りんご



2017年・土屋昌義

第27回UBEビエンナーレの実物制作指定作品だよ。地面にどしりと設置されたこの大きなリンゴは、日本の伝統の技を使って、何枚もの銅の板を組み合わせて形づけられているんだ。



TOKIWA MUSEUM scu.75 60

楽しく遊べるスパイラルウェブ

遊



2017年・増野智紀

第27回UBEビエンナーレで鳥根県立美術館賞を受賞した作品だよ。鮮やかな青と白のストライプ模様の渦巻きがとてきれいだね。実際に中に入って遊んでみよう。



TOKIWA MUSEUM scu.76 70

静かに時を待つメタリックフォレスト

森の掟



2017年・伊藤嘉英

第27回UBEビエンナーレで宇都興産株式会社賞を受賞した作品だよ。銅の板を叩いて伸ばしたこの作品には無数の穴が開けられていて、中から見ると、星空を流れる天の川みたいだよ。



TOKIWA MUSEUM scu.77 120

古代からの時空を超えた訪問者

ムー大陸より II



2017年・安藤 泉

第27回UBEビエンナーレの実物制作指定作品だよ。人のような顔に古代魚の体。ずっと昔に海底に沈んだとされている幻の大陸には、こんな生物がいたのかもしれないね。



TOKIWA MUSEUM scu.78 60

重力にそむくエアロブレイン 重力飛翔 - はるか かなた  2017年・佐藤勝男 第27回UBEビエンナーレで山口銀行賞を受賞した作品だよ。たまご形の石に翼が取り付けられていて、今にも空に向かって飛び立ちそうな感じがするね。 TOKIWA MUSEUM scu.79 80	大空へはばたくフライングホエール Megaptera (メガテラ)  2017年・神山 豊 第27回UBEビエンナーレで下関市立美術館賞を受賞した作品だよ。木で作られたザトウクジラが、大海をゆったりと泳ぐように大空に胸ひれをはたかせているよ。 TOKIWA MUSEUM scu.80 70	空間を演出するウッディーコア アフターアップル  2017年・石上和弘 第27回UBEビエンナーレで鳥根県吉賀町賞を受賞した作品だよ。食べられた後のリンゴの形をしたこの彫刻は、座って休憩もできるよ。てっぺんにはオリーブの木が植えられているんだ。 TOKIWA MUSEUM scu.81 70	世界をとらえるパーミリオンネット catch and release (キャッチ アンド リーズ)  2017年・岡田健太郎 第27回UBEビエンナーレの実物制作指定作品だよ。この大きくて赤い網の彫刻は、まっすぐな鉄の棒がいくつもいくつもつながって形づくられているんだ。 TOKIWA MUSEUM scu.82 60	地中で眠るアイアンサークル 池満  1993年・西 雅秋 第15回現代日本彫刻展で大賞を受賞した作品だよ。普段は地面の下に埋めてあって、めったに見られないスペシャルな彫刻だ。土の中で彫刻はどうなっているのかな。 TOKIWA MUSEUM scu.83 120
光が射し込むミラクルホール 宇宙シリーズ・87 (四季のメッセージ)  1987年・柴 利秋 第12回現代日本彫刻展の作品だよ。大きな御影石（みかげいし）の柱が特徴的だね。柱の上にある穴から射し込んだ太陽の光が、まっすぐに石の台に穿りこむ仕掛けだよ。 TOKIWA MUSEUM scu.84 80	吹き抜けるウィンドホール 風の影NO.6  1983年・大庭 浩 第10回現代日本彫刻展で宇都宮商社賞を受賞した作品だよ。大きくて重たい御影石の柱を使って、軽やかな風を表現した作品だ。彫刻の丘から見ることが出来るよ。 TOKIWA MUSEUM scu.85 60	右か左かバランスグリーン 円の仕掛け／滑空  1999年・生方 貴香 第18回現代日本彫刻展で毎日新聞社賞を受賞した作品だよ。緑色の巨大な三角柱が、縦と横に伸びている。ダイナミックな構成だね。台の緑色の円は、動きを表現するための工夫だ。 TOKIWA MUSEUM scu.86 60	超合体！スクラップアンドビルド Re-Creation  1999年 たべ・けんぞう 第18回現代日本彫刻展の作品だよ。クルクルまわる羽や機械の部品、パイプに鉄骨。どこかでみたことのあるような物がたくさんあるね。知っている物がないか探してみよう。 TOKIWA MUSEUM scu.87 95	太陽が昇るサンシャインパワー 翔陽のもとへ  1993年・黄板 雅文 第15回現代日本彫刻展の作品だよ。鉄の板と自然の石を使った作品で、鉄の錆色と石の自然な灰色が、お互いの色を引き立てあっているね。鉄の四角い形も、石の丸い形と相性がいいね。 TOKIWA MUSEUM scu.88 60
積み重ねるクレイアート 陸層  1995年・清藤 隆由 第16回現代日本彫刻展の作品だよ。野外彫刻では珍しい、土を焼いて作った作品だよ。土のうねうねとした模様や質感が、まるで一つの山のような不思議な風景を作り出しているよ。 TOKIWA MUSEUM scu.89 60	危うい関係ブリッジストーン 浮く石  1995年・船松 圭二 第16回現代日本彫刻展で宇都宮商社賞を受賞した作品だよ。大きな丸い石が、鉄板と石の柱の間に挟まっているね。どうしてこうなっちゃったのか、見る人が想像できる作品だね。 TOKIWA MUSEUM scu.90 60	黒鉄のバランスワイヤー 1995 KISHI  1995年・原口 典之 第16回現代日本彫刻展で毎日新聞社賞を受賞した作品だよ。黒く塗装された鉄の板は、両端の二本のワイヤーで支えられているよ。板が斜めになっているから、作品に緊張感があるね。 TOKIWA MUSEUM scu.91 70	赤と銀のランドスケープ あひたど... (わすれてしまったこと)  1989年・武井 信雄 第13回現代日本彫刻展の作品だよ。彫刻の赤いボディが、ときわ公園の風景の中でよく映えるね。作品の上部にあるステンレスの円柱は、風が吹くとゆっくりと動くよ。 TOKIWA MUSEUM scu.92 70	Tokiwa museum